

令和5年11月24日

報道機関各位

長岡市観光・交流部観光企画課長



継之助とは何者なのか？

長岡市 河井継之助記念館開館17周年記念講演会を開催

このたび、河井継之助記念館（長岡市長町1丁目甲1675-1）が開館17周年を迎えることを記念して講演会を開催します。中京大学文学部歴史文化学科の小川和也教授*を講師に招き、河井継之助の思想をテーマに講演いただきます。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、周知にご協力くださるとともに、当日はぜひ取材くださるようお願いいたします。

河井継之助記念館開館17周年記念講演会

- 日時** 12月3日（日）午後1時30分～3時20分頃（受付は午後1時から）
- 会場** 長岡グランドホテル2階 悠久の間（長岡市東坂之上町1-2-1）
- 内容** 講演：河井継之助の思想像をさぐる
～陽明学と藩学のあいだ～
講師：中京大学文学部歴史文化学科 教授 小川 和也氏
- 参加者** 300人（先着）
- 参加費** 無料
- 申し込み** 12月1日（金）までに申込フォーム、または電話・FAXで
申込フォーム：<https://logoform.jp/form/P5EF/376939>
河井継之助記念館 TEL：0258-30-1525 FAX：0258-30-1526
- 主催** 長岡市、河井継之助記念館友の会

※講師略歴

1964年群馬県館林市生まれ。専門は江戸時代の政治思想史。研究フィールドは越後長岡藩。成蹊大学卒、一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。北海道教育大学准教授を経て、2014年より現職。

卒業論文の序章「ツギ之助か、ツグ之助か—長岡藩総督 河井継之助をめぐる旅」で、JTB第15回日本旅行記賞受賞。『鞍馬天狗とは何者か—大佛次郎の戦中と戦後』で第1回河上肇奨励賞・2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞をW受賞。博士論文研究『牧民の思想』で第4回徳川奨励賞受賞、『儒学殺人事件—堀田正俊と徳川綱吉』で2014年度サントリー学芸賞受賞。ほかに、『文武の藩儒者 秋山景山』『大佛次郎の「大東亜戦争」』、加藤周一・凡人会との共著『ひとりでもいいんです』など、著作多数。

【問い合わせ：観光企画課 高野 TEL 0258-39-2344】

河井継之助記念館開館17周年記念講演会

河井継之助の思想像をさぐる

～陽明学と藩学のあいだ～

継之助とは 何者なのか？

これまで継之助像は明治以降、さまざまに語られてきた。その変遷のなかで、一貫しているのが陽明学徒・継之助という思想像である。果たして、継之助は陽明学徒なのだろうか。もし、そうであるとすれば「継之助にとっての陽明学」とは何であったかが、問われなければならないだろう。

この講演は、陽明学と長岡藩学の視点から、新しい継之助像を描き出すところみである。

中京大学文学部

歴史文化学科教授

おがわ かずなり
小川 和也 氏

1964年群馬県館林市生まれ。専門は江戸時代の政治思想史。研究フィールドは越後長岡藩。

成蹊大学卒、一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士(社会学)。北海道教育大学准教授を経て、2014年より現職。

卒業論文の序章「ツギ之助か、ツゲ之助か—長岡藩総督 河井継之助をめぐる旅」で、JTB第15回日本旅行記賞受賞。『鞍馬天狗とは何者か—大佛次郎の戦中と戦後』で第1回河上肇奨励賞・2006年度芸術選奨文部科学大臣新人賞をW受賞。博士論文研究『牧民の思想』で第4回徳川奨励賞受賞、『儒学殺人事件—堀田正俊と徳川綱吉』で2014年度サントリー学芸賞受賞。ほかに、『文武の藩儒者 秋山景山』『大佛次郎の「大東亜戦争」』、加藤周一・凡人会との共著『ひとりでもいいんです』など、著作多数。



日時:令和5年12月3日(日)

午後1時30分開始(3時20分終了予定)

会場:長岡グランドホテル 悠久の間

定員:300人(先着順) 入場無料

申込先:河井継之助記念館 長岡市長町1丁目甲1675-1 申込受付:令和5年11月8日(水) 午前10時から

電話:0258-30-1525 FAX:0258-30-1526

電話、FAX または QRコードからインターネットにて事前にお申し込みください。

(後日整理券を発送します)

電話の場合、住所・氏名・電話番号をお知らせください。

FAXの場合、以下にご記入のうえ、送付してください。

申込方法



申込フォーム

こちらからお申込みいただけます。

氏名	住所	電話・FAX 番号
	〒	